

# 第4回夏の思い出コンサート

～ さわら昔ばなしへの誘い ～



**平成23年8月26日（金）**

**開場18：00 開演18：30**

**早良市民センター4階ホール**

**主催 福岡市職員早良区音楽会実行委員会**

**共催 早良区役所**

**「がんばろう日本・ふくおか応援基金」チャリティコンサート**

## 第1部 独奏・アンサンブルステージ

- ①ジ・エンターテイナー／スコット・ジョプリン
- ②「歌の翼」による幻想曲／メンデルスゾーン-シュテックメスト
- ③ありがとう／作詞・作曲：水野良樹（いきものがかり）編曲：本間昭光
- ④クラリネット協奏曲第2楽章／T・フェアヘイ
- ⑤Autumn Leaves／Joseph Kosma
- ⑥前奏曲作品3-2嬰ハ短調「鐘」／ラフマニノフ
- ⑦魔笛の主題による変奏曲／フェルナンド・ソル
- ⑧ピアノソナタ第14番「月光」第3楽章／L.V.ベートーベン

## 第2部 さわら昔ばなしステージ

- ①誘いⅠ
- ②フクロウの染め物屋
- ③赤とんぼ
- ④馬の尻のぞき
- ⑤誘いⅡ

## 第3部 合奏・合唱ステージ

指揮：関 壽雄

- ①夏の終わりのハーモニー／作詞：井上陽水 作曲：玉置浩二
- ②道標／作詞・作曲：福山雅治 編曲：福山雅治、井上鑑
- ③スタンド・バイ・ミー／作詞・作曲：ベン・E・キング
- ④ハナミズキ／作詞：一青窈 作曲：マシコタツロウ
- ⑤Jupiter／作詞：吉元由美 作曲：グスターヴ・ホルスト
- ⑥明日があるさ／作詞：青島幸夫 作曲：中村八大 替え歌：福里真一

### 【出演者】（五十音順）

《器楽》	石橋 武	井料田 充	上枝 美海	上木戸 知会子	河津 明美
田村 亮祐	高島 宗一郎	土田 清孝	豊福 泰史	馬場 康夫	藤田 哲章
宝満 教代	宮本 重人	本宮 智子	安永 佐知子	横山 有二	吉田 尚
渡邊 理恵					
《踊り》	浅野 順子	池尻 美奈子	井上 京子	上野 智子	円城寺 香織
空閑 友里恵	栗原 由香	竹園 加奈子	筒井 しおり	綱脇 美智子	遠矢 亜希
中村 綾	野中 早紀	眞崎 陽子	松田 佳美	宮本 恵美	
《合唱》	石川 久史	井土 正三	岩男 美紀	大久保 孝治	大歯 美穂子
岡 奈都美	高園 英太郎	田村 亮祐	波奈 一直	藤田 薫	藤原 裕美子
古田 典子	宝満 教代	水清田 俊介	宮本 重人	山 雅子	山崎 三治
渡邊 理恵					

## 司会者プロフィール

中西 久美

10歳よりフルートをはじめる。

東京藝術大学付属音楽高校、東京藝術大学器楽科フルート専攻、卒業。

大学卒業後、RKB毎日放送アナウンス部に入社、アナウンサーとして活動するが、RKB毎日放送を退社後は、音楽活動と司会業を両立する。

1996年、ONE UP MUSICよりALL Weather LoveのメンバーでCDリリース。全国でライブ活動を行う。

第43回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位。第10回宮日音楽コンクール優秀賞受賞。

現在は、ソロ、室内楽、オーケストラなど演奏活動と「今日感テレビ」に出演するなど、司会、ナレーションなどの活動をしている。

# 曲目紹介

## ■第1部「独奏・アンサンブルステージ」■

### 1. 「ジ・エンターテイナー」 (ピアノ 上木戸 知会子)

1902年にスコット・ジョプリンにより作曲されました。1973年に映画『スティンク』で使用されたことにより、世界的に有名になりました。今でも、CM、BGM、サッカーの応援などいろいろな所でこの曲をお耳にされたことがあるかと思います。ジャンルのには、“ラグタイム”といわれています。ジャズのルーツみたいなものでしょうか。今回の『夏の思い出コンサート』のわれらが『エンターテイナー』たちをお楽しみいただければ、幸いです。

### 2. 「『歌の翼』による幻想曲」 (フルート 井料田 充/ギター 馬場 康夫)

『歌の翼に』は、ドイツロマン派の作曲家メンデルスゾーンによる1836年作曲の歌曲集「六つの歌」作品34の第2曲目の曲です。メンデルスゾーンは裕福なユダヤ人の家に生まれ、38歳という短い生涯の中でたくさんの美しい曲を残しました。歌詞は、ドイツの詩人ハインリッヒ・ハイネによる詩から採られたもので、「君とともに、幸せな夢をみよう」という意味を持つ幸せいっぱいの歌詞と、流れるような美しい旋律が人気の歌曲です。そして、この「歌の翼に」を、シュテックメストがフルートの為に編曲した「『歌の翼』による幻想曲」も、フルート曲としてとても人気が高く、コンサートや発表会などで数多く演奏されています。

### 3. 「ありがとう」 (ピアノ弾き語り 宝満 教代)

いきものがかり 18th シングルの楽曲ですが、昨年のNHK連続テレビ小説『ゲゲゲの女房』の主題歌としてもおなじみです。マンガ『ゲゲゲの鬼太郎』の作者・水木しげるを支えた妻・武良布枝の同名の自伝が原作で、愛する人とゆっくりと一歩ずつ明日へ向かって歩いていく女性が描かれました。主題歌の話を依頼されてから書き下ろしたというこの曲は、お互いを“思い合うこと”の積み重ねがとても大きなことに繋がるのではという、シンプルでも大切なことを歌ったものです。温かく、優しく、そして力強い、いきものがかりらしい楽曲です。今回の音楽祭は、「がんばろう日本・ふくおか応援基金」チャリティコンサートと位置づけているので、お集まりのみなさんに改めて「ありがとう」という気持ちを考えていただくきっかけになればと思い選びました。

### 4. 「クラリネット協奏曲第2楽章」 (クラリネット 河津 明美/ピアノ 田村 亮祐)

T・フェアフェイはブラームスと同じ時代に活躍した作曲家です。クラリネット協奏曲は、当時、クラリネットの名手として有名なミュールフェルトのために作曲されました。今回演奏する第2楽章には「ノクターン」というサブタイトルがついています。美しいメロディーが印象的な曲です。

### 5. 「Autumn Leaves」 (ギター 豊福 泰史/ピアノ 吉田 尚/ベースギター 上枝 美海)

『Autumn Leaves (枯葉)』は、1945年にジョゼフ・コズマが作曲し、後にジャック・プレヴェールが詞を付けた、シャンソンのナンバーです。1946年に製作されたマルセル・カルネ監督の映画『夜の門 (Les Portes de la Nuit)』の中で当時新人歌手だったイヴ・モンタンによって歌われました。その後、人気女性シャンソン歌手ジュリエット・グレコが歌ったことで世に認知され、1940年代末から1950年代にかけ広まりシャンソン界のスタンダード曲となりました。アメリカでは1950年代以降、ビング・クロスビー、ナット・キング・コール、フランク・シナトラなど多くの有名歌手がカバーし、アメリカのポピュラー音楽界におけるスタンダードナンバーとなりました。ジャズの分野では、1950年代後半以降、スタン・ゲッツ、キャノンボール・アダレイ、マイルス・デイヴィス、ビル・エヴァンス、キース・ジャレット、チック・コリア等多くの有名ジャズメンによって取り上げられました。日本では、戦後起こったシャンソンブームに乗って、淡谷のり子、越路吹雪、ペギー葉山などが持ち歌にしました。

### 6. 「前奏曲作品3-2 嬰ハ短調『鐘』」 (ピアノ 宮本 重人)

ロシアの作曲家ラフマニノフの作品は、50年ほど前は非常に特定の人非常に限られた作品を弾いたり聴いたりしていただけでした。要求されるピアノの技術がとてつもなくむずかしく、当時のピアノ学習者が弾くのを畏れていたためと、世界が科学万能、経済成

長をひたすら走り続けていたため、時代がかった彼の音楽は軽蔑の対象となっていて、「ラフマニノフが好きだ」とは人前で言えないような風潮がありました。しかし、時代は移り、20世紀末、世界全体が発展や進歩といったものから諦念やメランコリーに支配されるようになると、彼の音楽は世界中の人々の心を捉えました。この作品は大聖堂の協会の鐘の音を描いたと言われておりますが、そうならばとてつもなく巨大な鐘にちがいません。幾重にもかさなる和音の連打が弱音から最強音まで連続し、怒濤となって響き渡った音は大滝のごとく荒れ狂い、最後にはまたもとの弱音にもどり、静かに終わります。非常にキッチュ（通俗的）ですが、それを超える高貴さと気品をたたえた音楽には違いありません。

#### 7. 「魔笛の主題による変奏曲」（ギター 馬場 康夫）

モーツァルトのオペラ「魔笛」の中の旋律を主題とした変奏曲で、古典ギターの代表的な曲の一つです。ギターを弾き始めた頃に、テレビの「ギター教室」という番組のテーマ曲だったのでとても思い出深い曲です。作曲者のフェルナンド・ソルは、モーツァルトやベートーベンと同時代のスペインの作曲家で、ギター奏者でもあり、「ギターのベートーベン」とも呼ばれ、古典ギターの基礎を創り上げました。

#### 8. 「ピアノソナタ第14番『月光』第3楽章」（ピアノ 田村 亮祐）

「悲愴」「熱情」とならびベートーベンの三大ピアノソナタと呼ばれることもある「月光」です。ベートーベンの楽曲の通称名が、ほとんどベートーベン自身がつけていないように、この曲も後の時代に第1楽章をさして「月光」と呼ばれるようになりました。今回演奏する第3楽章は、「激しく速く」というテンポが記しているようにその内容は第1楽章と比して非常に荒々しいものとなっていますが、冒頭の3音は、第1楽章と同じ音となっています。

### ■第2部「さわら昔ばなしステージ」■

早良区では、区民と共に組織した「さわら魅力づくり推進委員会」が早良区内に伝わる民話や謂われなどの調査・収集を行ってこの民話などを新たな区の魅力として発信するため、「さわら昔ばなし」として7話の紙芝居風アニメや5作の紙芝居を制作しました。

今回、演奏に使用する篠笛は早良区地域整備部長の川原宏幸氏の製作したもので、写真は前市民部長の藤本道雄氏の提供によるものです。

#### 1. 誘いⅠ（フルト・篠笛：井料田 充／打楽器：宝満 教代、藤田 哲章、渡邊 理恵）

外山雄三作曲の管弦楽曲「管弦楽のためのラプソディ」より、鈴の音に続いてフルトによる『信濃追分』で情緒豊かなメロディーにより有限の世界へと誘い、鈴の弱奏の後に静寂を拍子木が打ち破り、大久保 宙／朱鷺 たたら作曲の「荒馬踊り」と続きます。

#### 2. フクロウの染め物屋（お話：中西 久美／フルト：井料田 充／ピアノ：上木戸 知会子）

昔むかし、高取の森に、フクロウがおったそう。フクロウは腕の立つ染め物屋さんです。「おじさん、きょうはお出かけだから、とびきりキレイに染めてよ！」「よしきた！」フクロウは・・・《出典地域 早良区高取》

#### 3. 赤とんぼ（独唱：山 雅子／ピアノ伴奏：上木戸 知会子）

昔から日本人に愛されてきた童謡「赤とんぼ」。踊るメンバーのほとんどが初心者ですが、歌詞の情景が思い浮かぶように踊ります。独唱とピアノ伴奏をバックに、ゆかた美人16名の踊りをお楽しみください。

#### 4. 馬の尻のぞき（お話：中西 久美／フルト：井料田 充／ピアノ：上木戸 知会子）

昔、脇山に気の優しい泰兵衛という若者がおったそう。ある日、「いたずら好きのキツネに化かされて、頭にきたばい」と村人が話している所に泰兵衛が通り掛かりました・・・《出典地域 早良区脇山》

#### 5. 誘いⅡ（篠笛：井料田 充／打楽器：宝満 教代、藤田 哲章、渡邊 理恵）

大久保 宙/朱鷺 たたら 作曲の「かがり田楽」で華やかに第2部を締めくくります。

## ■ 第3部「合奏・合唱ステージ」 ■

### 1. 夏の終りのハーモニー

「夏の終りのハーモニー」は1986年8月20日、21日神宮球場にて行われた井上陽水と井上陽水のバックバンドとして活動していたこともある安全地帯のジョイントライブのアンコールで歌うために、「ワインレッドの心」「恋の予感」など安全地帯のヒット曲の作詞を手がける井上陽水が、ボーカルで全面的に参加した作品です。今では様々な音楽番組でも「21世紀に残したい名曲」となるほど人気の高い名バラードとして知られている。

### 2. 道標

日本テレビ系報道番組からの依頼を受けて制作された、“命”をテーマにした楽曲です。歌詞は福山が敬愛する祖母をイメージして書かれています。当初、以前からストックしてあった楽曲に詞をのせようとしていましたが、歌いたいテーマとメロディーがあまり合わなかったため、2008年11月頃に急いで楽曲を作ったそうです。音源化するにあたって、歌が一部録り直され、オンエアされていたものとは若干異なっています。道標も福山のバラードの代表曲の一つになると思われます。

### 3. スタンド・バイ・ミー

スタンド・バイ・ミー (Stand by Me) は、1961年にアメリカでベン・E・キングのシングルレコードとして発表され、その後ジョン・レノンなど多くのミュージシャンにカバーされています。1986年に公開された同名のアメリカ映画は、モダン・ホラーの大家ステイヴン・キングの短編 THE BODY (「死体」) を原作とし、1950年代末のオレゴン州の小さな町キャッスルロックに住む、それぞれ心に傷を持った4人の少年たちのひと夏の冒険を描いた作品で、アカデミー脚色賞などにノミネートされ、ベン・E・キングが歌う同名の主題歌もリバイバルヒットしました。

和訳歌詞: 夜が来て 周りが暗く 月の光しか見えなくなっても いいや僕は 怖くない  
そう 怖くないのさ ただ君が そばにいてくれれば だからダーリン ダーリン そば  
にいて オー 僕のそばに オー そばに そばにいて そばにいて欲しい

### 4. ハナミズキ

ハナミズキ (はなみずき) は一青窈の5代表曲の1つです。アメリカ同時多発テロ事件発生時、ニューヨークにいた友人からのメールをきっかけに、一週間ほどで書きあげた詞には当初「テロ」「散弾銃」といった言葉があり、一青いわく「挑戦的な詞」であったといいます。その詞を削っていった「君と好きな人が百年続きますように」の言葉にたどり着いたのは一青自身も不思議に思っているそうです。タイトルの元となったハナミズキは、彼女が学生時代よく行った「ドッグウッドプラザ」にちなんでいます。

### 5. ジュピター

「Jupiter」(ジュピター)は、2003年12月17日に発売された日本の歌手・平原綾香の1枚目のシングルであり、デビュー曲の題名です。グスターヴ・ホルストの「木星」(管弦楽組曲『惑星』の第4曲)の主題の1つをモチーフにして吉元由美が詞を付けたものです。新潟県中越地震の際、被災者を勇気付ける応援歌として新潟県内のラジオ局で多くリクエストされました。また、被災翌年の2005年より長岡まつり大花火大会で打ち上げられている復興祈願花火『フェニックス』ではこの曲の短縮バージョンがBGMとして使われています。2005年8月3日(花火大会2日目)には平原自身が来場し、この曲をライブで歌いました。また2011年の東日本大震災直後にも、「FNS音楽特別番組」での歌唱など、リクエストの多い曲となりました。

### 6. 明日があるさ

『明日があるさ』(あしたがあるさ)は、1963年に発表され坂本九が歌った歌謡曲です。自分に自信が持てず、意中の女性に恋心を打ち明けられないにもかかわらず、前向きに日々を過ごす男子学生をコミカルに表現し、当時80万枚以上のセールスを樹立しました。その後多くの歌手にカバーされ、2000年8月に、缶コーヒーのCMソングとしてこの歌が起用されると、不況下にあった日本を明るく元気にしていこうという風潮や吉本興業所属の人気お笑い芸人のキャスティングとが大きく作用し、たちまち話題となり、坂本九の原曲がシングルCDとして再発されるなど空前のリバイバルヒットとなりました。また、CMでカバーバージョンを歌ったウルフルズと、出演していた吉本興業所属芸人によるCDは約100万枚を売り上げました。

# ごあいさつ

本日は「夏の思い出コンサート」にお越しいただき、誠にありがとうございます。  
早良区職員をはじめとした音楽を愛する仲間が集う手作りのコンサートとして、今年で4回を重ねることになりました。

第1部は、ピアノ、フルート、ギターなどの演奏です。アマチュアながら、日頃から練習に励み鍛えた腕をご披露いたします。

第2部では、「さわら昔ばなしへの誘い」というサブタイトルにありますように、早良区に昔から伝わるお話を映像と音楽でご紹介いたします。なつかしい童謡に合わせた踊りも楽しんで頂ければと思います。早良区は、北は百道の海、南北に流れる室見川、南は背振の山々に囲まれた水と緑豊かな地域でございます。また昔からの人情味が残る地域でもあります。これを機に早良区への愛着を深めて頂ければ幸いです。

第3部では混声合唱と合奏のステージをお届けします。最後の曲「明日があるさ」は東日本大震災の被災地への応援メッセージを込めて、会場のみなさまと一緒に声高らかに歌いたいと思っております。

今年は「がんばろう日本・ふくおか応援基金」チャリティコンサートとして会場の入口に募金箱を設置しております。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、この音楽会の開催にご協力、ご支援頂いた多くの方々はこの場を借りて感謝申し上げます。

夏の夕べのひとつときを心ゆくまでお楽しみください。

福岡市職員早良区音楽会実行委員会会長

井上 京子

## 【スタッフ】

池尻 美奈子	池尻 康孝	井上 京子	井料田 充	大久保 孝治	小中 あけみ
金子 雄一郎	高武 正孝	澤 芳信	下原 庸輔	関 壽雄	高園 英太郎
高田 佳代	竹園 加奈子	田村 亮祐	筒井 しおり	遠矢 亜希	道津 美紀
鳥越 由紀子	戸渡 貴法	畑中 諒子	原田 哲司	藤原 裕美子	松田 晃
的野 直勝	水上 英樹	水清田 俊介	水戸川 真子	宮本 重人	村上 博
八木 和則	山崎 三治	山下 英子	横山 健悟		

## がんばろう日本 Do for Japan

from FUKUOKA

※このコンサートはJ:COMチャンネル福岡「イベントアワー出てみ～な見てみ～な」にて2011.10.28～11.3（放送月水金日 8:30～、21:00～/火木土 10:00～、20:00～、27:30～）に放送予定です。

酒家場  
杜氏  
TOROSHI

- ・500円ランチ 人気!!
  - ・厳選した日本酒と焼酎
  - ・ご当地直送メニュー
  - ・家庭料理
  - ・その他いろいろ…
- 地下鉄藤崎駅徒歩1分

〒814-0006

福岡市早良区百道1丁目 4-15(工藤ビル地下1階)

【営業時間】ランチ 11:30～14:00 夜営業 17:00～24:00

TEL 092-845-1988

ホルモン定食、豚しょうが焼定食、ギョウザ定食、毎日、楽しみの日替わり定食もあります。名物チャンポン(月・木曜のみ)は売り切れ御免



## ふくちゃん亭

福岡市早良区高取2-3-23 グランドメゾン藤崎1F  
TEL 092-841-2360

